

令和5年度

## 第1学年理科年間指導計画・評価計画

月	単元名	時数	評価規準 (1)知識・技能 (2)思考・判断・表現 (3)主体的に学習に取り組む態度	評価方法
4月 5月 6月	単元1 生物の世界	26 ～ 27	(1) <ul style="list-style-type: none"> <li>ルーペや双眼鏡、双眼実体顕微鏡の操作、スケッチの仕方や観察記録のとり方を身に付けている。</li> <li>学校の周辺に生活している生物の観察を行い、生物の生活を自然環境と関連させてみようとしている。</li> <li>身のまわりの生物について見通しをもって観察し、いろいろな生物の特徴をとらえ、共通点と相違点を見いだして表現している。</li> <li>いろいろな生物を比較して見いだした共通点や相違点を相互に関係づけて分類できることを理解し、分類の仕方の基礎を身に付けている。</li> </ul>	行動観察 レポート スケッチ ワークシート ペーパーテスト
			(2) <ul style="list-style-type: none"> <li>いろいろな植物に興味をもち、それらの特徴に進んで関わり、科学的に探究しようとしている。</li> <li>いろいろな植物の体のつくりに着目して分類しようとするとともに、日常生活においても習得した知識・技能を活用して植物との関わりを深めようとする。</li> <li>植物のつくりや形状などの共通点や相違点を理解し、植物を分類するための知識を身に付けている。</li> <li>色、形、大きさ、生息場所、殖え方、養分のとり方などの特徴に基づいた観点で分類の基準を設定し、観点や基準を変えると分類の結果が変わることを見いだしている。</li> </ul>	行動観察 ワークシート 発表 レポート ペーパーテスト
			(3) <ul style="list-style-type: none"> <li>いろいろな脊椎動物に興味をもち、それらの動物の特徴に進んで関わり、科学的に探究しようとしている。</li> <li>いろいろな動物の生活の仕方や体のつくりに基づいて分類しようとするとともに、日常生活においても習得した知識・技能を活用して動物との関わりを深めようとする。</li> <li>脊椎動物の5つのグループの分類の観点を理解し、体の表面などの特徴がそれぞれの生活の場所や生活の仕方と密接に関わっていることを理解している。</li> <li>生活の仕方や体のつくりの特徴など、動物の共通点や相違点を理解し、動物を分類するための知識を身に付けている。</li> <li>無脊椎動物の体の特徴や運動のようすに興味をもち進んで関わり、科学的に探究しようとしている。</li> <li>動物の共通点や相違点に基づいて動物を分類できることを見だし、表現している。</li> </ul>	行動観察 レポート ワークシート 学習課題
9月 10月 11月	単元2 物質のすがた	24 ～ 25	(1) <ul style="list-style-type: none"> <li>薬品や器具の使い方、ガスバーナーなど加熱器具の基本操作を身に付けている。</li> <li>物質によって密度が違うことを理解し、密度についての知識を身に付けている。</li> <li>それぞれの気体に特有の性質があることを理解し、知識を身に付けている。</li> <li>物質の状態変化を粒子のモデルと関連付けて理解し、知識を身に付けている。</li> <li>水溶液の中では溶質が均一に分散していることを粒子のモデルと関連付けて理解し、知識を身に付けている。</li> <li>身のまわりの物質を区別するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。</li> </ul>	行動観察 レポート ペーパーテスト
			(2) <ul style="list-style-type: none"> <li>物質の固有の性質と共通の性質について、自らの考えを導いたりまとめたりして、表現している。</li> <li>身のまわりの気体とその性質に関する事象・現象について、それぞれの気体に特有の性質があることを見いだして、表現している。</li> <li>物質の状態変化では、粒子のサイズや数が変化せず、粒子の運動のようすが変化していることを、粒子のモデルを使って表現している。</li> <li>物質が水に溶ける仕組みについて、粒子のモデルと関連付けて、規則性を見いだして表現している。</li> <li>身のまわりのものがどのような物質でできているのか問題を見だし、物質を区別するために見通しをもって実験を計画している。</li> </ul>	レポート ペーパーテスト ワークシート 発表
			(3) <ul style="list-style-type: none"> <li>身のまわりの物質に興味をもち、物質の性質を利用して区別しようとするとともに、事象と日常生活との関係について調べようとしている。</li> <li>身のまわりの気体に興味をもち、意欲的に探究しようとするとともに、日常生活と関連付けて考えようとしている。</li> <li>物質の状態変化に興味をもち、状態変化にもなると体積や質量がどのように変化するか、日常生活と関連付けて見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。</li> <li>物質のすがたに関する事象・現象に進んで関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。</li> </ul>	行動観察 レポート 質問紙 ワークシート

月	単元名	時数	評価規準 (1)知識・技能 (2)思考・判断・表現 (3)主体的に学習に取り組む態度	評価方法
12月 1月 2月 3月	単元3 身近な物理現象	24 ～ 26	(1) <ul style="list-style-type: none"> <li>・空気中、水中、ガラスの中などを光が直進することやもの見え方、入射角と反射角・屈折角、凸レンズによる像を調べる技能や入射光と反射光・屈折光の道筋と像の位置、凸レンズによってできる像を作図する技能を身に付けている。</li> <li>・音の発生、大きさや高さや音源の振動の仕方に関係について理解している。</li> <li>・物体に力が働くとその物体が変形したり動き始めたり、運動の様子が変わったりすることやさまざまな力があることを見出すとともに力には作用点や大きさ、向きの3つの要素があること、力は矢印で表せることについて理解している。</li> <li>・ばねに加わる力とばねの伸びを調べる技能や、力の大きさとばねの伸びの関係をグラフで表す技能を身に付けている。</li> <li>・1つの物体に働く2力のつり合いの条件について理解し、2力がつり合うときの力の大きさや向きの関係を調べる技能を身に付けている。</li> </ul>	ペーパーテスト ワークシート レポート 行動観察
			(2) <ul style="list-style-type: none"> <li>・光が進む様子に見通しをもって観察し、光が直進することや光の反射・屈折、凸レンズによる像に問題を見いだして課題を設定し、光の反射・屈折、凸レンズによる像をつくる実験に見通しをもって行い、規則性を見いだして表現している。</li> <li>・音の伝わり方、大きさや高さについて調べる実験に見通しをもって行い、規則性を見いだして表現している。</li> <li>・力の働きを分類する活動を行い、物体に力を加えたときの変化、力には作用点や大きさ、向きの3つの要素があることを見いだして表現している。</li> <li>・力の大きさとばねの伸びの関係を調べる実験に見通しをもって立案して行い、力の大きさとばねの伸びの規則性を見いだして表現している。</li> <li>・物体に2力を加える実験に見通しをもって行い、つり合っている2力の関係性を見いだして表現している。</li> </ul>	ワークシート レポート 発表 ペーパーテスト
			(3) <ul style="list-style-type: none"> <li>・光が進むときの事象・現象、光の反射・屈折、凸レンズの働きに関する事象・現象について進んで関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。</li> <li>・音の発生と伝わり方、大きさや高さについて進んで関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。</li> <li>・力の働きと種類、表し方に関する事象・現象について進んで関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。</li> <li>・力の大きさとばねの伸びに関する事象・現象について進んで関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。</li> <li>・2力のつり合いに関する事象・現象について進んで関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。</li> </ul>	行動観察 ワークシート レポート 質問紙
4月 ～ 7月 9月 ～ 12月 1月 ～ 3月	単元4 大地の変化	26 ～ 27	(1) <ul style="list-style-type: none"> <li>・火山の形や活動のようすを地下のマグマの性質と関連付けて理解している。</li> <li>・火山岩、深成岩をルーペや顕微鏡などを使って観察し、それぞれの組織の特徴をとらえ、マグマの冷え方によって火成岩の組織がちがうことを理解し、知識を身に付けている。</li> <li>・地震の発生、震源や震央、震度とマグニチュードのちがいが、初期微動、主要動、P波、S波など、地震の揺れの特徴、初期微動継続時間と震源からの距離との関係について理解し、知識を身に付けている。</li> <li>・れき、砂、泥など、粒の大きさと沈み方の関係、地層のでき方の規則性や流水による地形のでき方、地層が堆積した当時のようすや断層やしゅう曲など大地の変動の影響、堆積岩の特徴、示相化石や示準化石を理解し、知識を身に付けている。</li> <li>・日本付近の震源の分布の特徴とプレートの動きなど地球内部のはたらきからいろいろな地形ができる仕組みを理解している。</li> </ul>	行動観察 ワークシート ペーパーテスト スケッチ レポート
			(2) <ul style="list-style-type: none"> <li>・火山噴出物についてやマグマの粘りけと溶岩の色、火山の形、噴火活動のようすのちがいを関連付け、自らの考えを導いたりまとめたりして、表現している。</li> <li>・火山岩、深成岩の組織のちがいとマグマの冷え方の関係に気付こうとする。</li> <li>・地震の揺れの広がり方や震源からの距離と揺れ始めるまでの時間、P波とS波の速さや届くまでの時間の差と震源からの距離との関連を見だし、自らの考えを導いたりまとめたりして、表現している。</li> <li>・複数の地点の地層の柱状図などを比較し、地層のようす、堆積岩、化石の特徴をもとに地層のできた時代や当時の自然環境について推定し表現している。</li> <li>・世界の火山と震央の分布とプレートの動きとの関係、地球内部のはたらきから地震や火山活動の起こる仕組みを見だし、自らの考えを導いたりまとめたりして、表現している。</li> </ul>	ワークシート ペーパーテスト レポート 発表
			(3) <ul style="list-style-type: none"> <li>・火山噴出物に興味をもち、火山噴出物が地下のマグマに由来することを探究しようとし、火山の形や噴火活動のようすについて関連性を考え、地下のマグマの性質との関係を見いだそうとしている。</li> <li>・鉱物や、火山岩と深成岩の特徴を科学的に探究しようとし、火成岩の結晶の大きさやつくりのちがいとマグマの冷え方に関係を見いだそうとする。</li> <li>・日本付近は地震が多く発生することに興味をもち、震度やマグニチュード、地震の発生について課題を設定し説明しようとしている。</li> <li>・地震の揺れの広がり方や、揺れの伝わる速さなどについて探究しようとし、地震計の記録と地面の揺れの伝わり方から、初期微動継続時間と震源からの距離の関係を見いだそうとする。</li> <li>・地層について興味をもち、地層のでき方や重なり方、地層をつくる岩石や化石などから堆積した当時の自然環境や年代を探究しようとする。</li> <li>・地震や火山活動とプレートの動きやはたらきと、地球内部のはたらきとの関わりを調べようとする。</li> </ul>	行動観察 レポート ワークシート 質問紙